

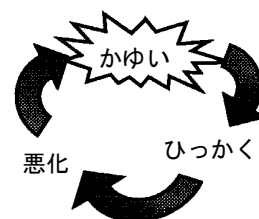


アトピー性皮膚炎のウエット・ラップ法



＜ウエット・ラップ (Wet Wraps) 法とは？＞

アトピー性皮膚炎の治療には、抗アレルギー剤、抗ヒスタミン剤などの内服薬、ステロイド軟膏、保湿剤などの外用薬が用いられます。こうした治療をしても、かゆみのためにガリガリと掻いてしまって治療効果が十分あがらないことがあります。このような場合には、ウエット・ラップ法をお勧めします。

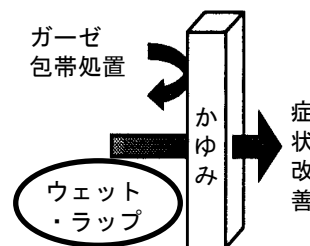


ウエット・ラップ法というのは、皮膚にステロイド軟膏や保湿剤を塗り、ぬるま湯やお湯などで濡らした『チュビファースト』(サポーターの形状をした包帯のような布)を着用し、更にもう一枚乾いた『チュビファースト』を二重に被せるやり方です。



ウエット・ラップ法の利点や特長は、(1)冷涼感により『ひっかく行為』が軽減する、(2)経皮吸収促進によりスキンケア療法の効果が増進する、(3)高い保湿効果がある、などです。

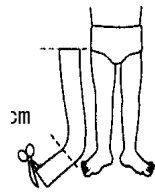
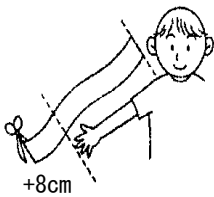
ウエット・ラップ法を使えば、(4)アトピー性皮膚炎の強いかゆみが軽減し、(5)ひっかくダメージから皮膚が保護され、(6)患者の睡眠パターンが改善され生活の質(QOL)が向上します。



『チュビファースト』には 5 種類あります。頭部、胴体、腕脚など部位により使用法が異なります。薬局で販売しているので、お買い求めください。

ライン色	伸ばす前の幅 (cm)	長さ (m)	適用部位/年齢別該当部位							
			部位	円周 (cm)	4 カ月	4 カ月 - 1.6 歳	1.6-5 歳	5 歳以上	成人	
赤	3.50	10	生後 4 カ月未満の腕	8- 15	腕					
緑	5.00	5,10	5 歳未満の手足 5 歳以上の腕	10- 25	脚	腕・脚	腕・脚	腕		
青	7.50	5,10	5 歳以上の脚 成人の腕	20- 45				脚	腕・脚	
黄	10.75	5,10	小児の胴体、頭部 成人の手足	35- 65	胴・顔	胴・顔	胴・顔	胴・顔	腕・脚	
ベージュ	17.50	10	成人の胴体	50-120						胴・顔

<腕と脚の場合>

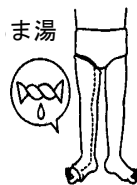


(1)患部の長さに約8cm 加えたチュビファーストを2本裁断して用意します(図参照).

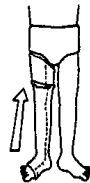
(2)1本のチュビファーストをぬるま湯に浸します. 冬場は火傷しない程度の熱めのお湯(40℃程度)をお勧めします.



(3)アトピー性皮膚炎の悪化している部位にはステロイド軟膏を, それ以外の部位には保湿剤を満遍なく塗ります(図参照).

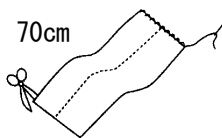


(4)ぬるま湯あるいはお湯に浸したチュビファーストを軽く絞り, 患部に着用します(図参照).



(5)2本目の乾いたチュビファーストを, その上から二重に着用します(図参照).

<頭部の場合>



(1)顔の幅に合わせてチュビファーストのサイズを選び, 約70cmの長さに裁断して, 片方の端を縫い合わせるか, 結び目をつけて, しばり止めます(図参照).

(2)患者の顔にかぶせて目・鼻・口の位置に印を付け, 一旦取り外してから穴開けを行います.

・チュビファーストをかぶせたまま穴開けをすると, 皮膚や目などを傷つけ, 不慮の事故につながります. 絶対に一旦取り外してから穴開けを行ってください.

・チュビファーストは水に濡らすと若干縮むので, 穴は縦方向で小さめに開けてください.



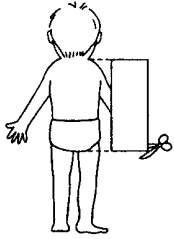
(3)チュビファーストをぬるま湯に浸します. 冬場は火傷しない程度の熱めのお湯(40℃程度)をお勧めします.

(4)アトピー性皮膚炎の悪化している部位にはステロイド軟膏を, それ以外の部位には保湿剤を満遍なく塗ります(図参照).

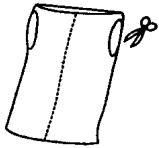


(5)ぬるま湯あるいはお湯に浸したチュビファーストを軽く絞り、再びかぶせます(図参照)。顔については、チュビファーストを二重着用する必要がありません。

<胴体の場合>



(1)首の付け根からお尻までの長さのチュビファーストを2本裁断して用意します(図参照)。



(2)まず2本とも胴体に着用し、両腕の位置に印を付け、一旦取り外して穴を開けます(図参照)。

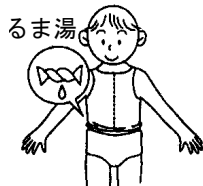
・チュビファーストをかぶせたまま穴開けをすると、皮膚などを傷つけ、不慮の事故につながります。絶対に一旦取り外してから穴開けを行ってください。

・チュビファーストは水に濡らすと若干縮むので、穴は縦方向で小さめに開けてください。

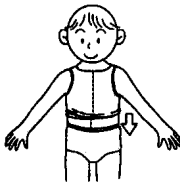
(3)1本のチュビファーストをぬるま湯に浸します。冬場は火傷しない程度の熱めのお湯(40℃程度)をお勧めします。



(4)アトピー性皮膚炎の悪化している部位にはステロイド軟膏を、それ以外の部位には保湿剤を満遍なく塗ります(図参照)。



(5)ぬるま湯に浸したチュビファーストを軽く絞り、着用します。冬場は火傷しない程度の熱めのお湯(40℃程度)をお勧めします。



(6)2本目の乾いたチュビファーストを同じ要領で二重に着用します(図参照)。